

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

388号

2023年7月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

朝鮮の偵察衛星打ち上げにどう対応すべきなのか

●朝鮮政府が人工衛星の発射を事前通告

朝鮮政府は5月29日、人工衛星を5月31日から6月11日の間に打ち上げると事前に通告した。これに対して、岸田首相は「北朝鮮(※正しくは朝鮮)による『衛星』と称する弾道ミサイルを発射する旨の通報に関する総理指示」を出した。これ以降、日本国内では連日「北朝鮮(※正しくは朝鮮)が人工衛星と称する事実上の弾道ミサイルの発射を予告」と朝鮮の脅威を煽り立てる報道が続いた。

●沖縄県にJアラートが発令

日本政府は5月31日午前6時30分に全国瞬時警報システム(Jアラート)を発令、「ミサイル発射。北朝鮮(※正しくは朝鮮)からミサイルが発射されたものとみられます。建物の中、または地下に避難して下さい」という災害メールを送り、沖縄県民を恐怖に陥れた。

朝鮮国家宇宙開発局は「31日(午前)6時27分、平安北道鉄山郡の西海衛星発射場で、軍事偵察衛星『万里鏡1号』を新型衛星運搬ロケット『千里馬1型』に搭載して打ち上げた。(しかし)2段エンジンの始動異常で朝鮮西海に墜落した」とし、「科学技術的対策を講じ、できるだけ早いうちに2回目の打ち上げを断行する」と異例の速さで発射当日に公式発表した。

●偵察衛星とは何か？

偵察衛星は上空200キロメートルから800キロメートルまでの低高度を周回して相手国の上空から画像の撮影や電波の傍受などを行うための人工衛星だ。北極と南極をつなぐ極軌道に打ち上げられる。弾道ミサイルが日本海側に打ち上げられるのに対して今回の偵察衛星が南方向に打ち上げられたのはそのためだ。偵察衛星は極軌道に乗

って地球を南北に周回し、地球は西から東へと自転するので地球の表面をくまなく観察することができる。2019年3月末時点で米国は43基、中国は64基、ロシアは10基保有しており、日本も9基、偵察衛星を保有している。

●朝鮮が偵察衛星を保有する目的は？

偵察衛星発射前日の5月30日に、朝鮮労働党中央軍事委員会のリ・ビョン Chol 副委員長は偵察衛星の保有目的について「朝鮮半島における米

核戦略攻撃手段の展開、米国と南朝鮮の様々な合同演習、米軍の空中偵察行為」が「朝鮮半島の安保環境の現状を示す集約版」だとしたうえで「敵の軍事行動の試みをリアルタイムで掌握できる信頼性の高い偵察情報手段の確保が最も急がれる任務」だと明らかにしている。また発射翌日の6月1日には、朝鮮労働党中央委員会のキム・ヨジョン 副部長が「朝鮮民主主義

人民共和国の軍事偵察衛星は遠からず宇宙軌道に正確に進入し、任務遂行に着手することになるだろう」と述べた。遠くない将来、朝鮮は再び偵察衛星の打ち上げを行うものと思われる。私たちはその日をどのように迎えるべきなのか。

●軍事的対立を政治的に解決する努力を

日本政府は「人工衛星と称する事実上の弾道ミサイル」という表現で脅威をあおるのではなく、弾道ミサイルではなく人工衛星であることを事実通りに伝え、Jアラートは発令せずに、ロケット切り離し部分の予想落下地点への警戒を促すことで十分だろう。そして、軍事的な対立を政治的に解決するために、一日も早く朝鮮敵視政策を転換して朝鮮との政治対話に進むべきだと思う。

(金五)



韓米日軍事演習の中止と

平和協定の締結を実現しよう！

2023年第2回韓統連セミナー

韓統連大阪本部主催による今年2回目の韓統連セミナー「尹政権の対北政策と公安政局～時代の逆行を許してはならない～」が6月11日(日)、KCC会館(大阪市生野区)で開かれた。

セミナーでは、金隆司(キム・ユンシ)大阪本部代表委員が主催者挨拶を通じ「尹錫悦政権が発足して1年が経ちます。しかし韓国の民主化は崩壊し、南北関係は停滞したままです。今日のセミナーでは尹政権の対北政策などについて認識を共有しましょう」と語った。

次に、金昌五(キム・チャンウ)大阪本部副代表委員が「戦争の危機を克服して、平和と繁栄の時代を切り開こう」をテーマに報告を行った。



▲朝鮮半島情勢について報告する金昌五副代表

金副代表は報告冒頭「最近の情勢変化をふまえ、セミナーの題名とは違う内容にしました」と述べ、尹政権の対米・対日関係について報告を行い「尹錫悦政権の対日屈辱外交により、米国が目指す韓米日軍事同盟の確立が進められ、韓国と日本は対朝鮮・中国・ロシア包囲網の先兵隊の役割を担っている」と語った。

そして「昨年から韓米合同軍事演習が再開される中、朝鮮は「強対強、善対善」の政策により軍事的対応を強化している。高まる戦争の危機を回避するためには、韓米合同軍事演習の中止と停戦協定を平和協定に変えることだ」と強調した。

報告後は質疑討論と今後の行事予定が紹介され、最後に金昌範(キム・チャンボム)大阪本部副代表委員が閉会挨拶を行った。

停戦協定70年

あらためて朝鮮戦争の真実を学ぶ

韓統連関西協議会学習会

朝鮮戦争の停戦協定締結から70年を迎え、韓統連関西協議会の主催で学習会「停戦協定を平和協定に変えよう！～戦争を終え、平和へ～」が6月25日(日)、PLP会館(大阪市北区)で開かれた。

学習会では、金隆司大阪本部代表委員が主催者挨拶を行い「朝鮮戦争の起源をたどっていくと、この戦争の本質が理解できます。今日の学習会を通じて朝鮮戦争の本質と平和協定締結の重要性について学びましょう」と語った。



▲平和協定の実現に向けて報告する金昌範副代表

次に、金昌範大阪本部副代表委員が報告を行った。金副代表は朝鮮戦争の開戦に至る経緯を報告し、戦争の推移を解説しながら「米国は朝鮮人民軍の戦闘力を軽視していた」と指摘した。

続いて、1953年に締結された停戦協定の内容を報告しながら「停戦協定では、すべての外国軍隊の朝鮮半島からの撤退が明記されており、中国人民志願軍は撤退したが、53年8月に韓米相互防衛条約が仮調印され、在韓米軍が創立された」と語った。

そして、平和協定締結に向けて「4・27板門店宣言では休戦協定を平和協定に転換し、恒久的平和体制構築のための4者会談の会談を推進すると明記されている。米国の承諾なしに平和協定締結は困難なのはもちろんだが、南北の自主力量が平和協定締結の可能性を高めていく」と強調した。

報告後は、質疑討論と金昌五大阪本部副代表委員から、7月22日にソウルで開かれる「停戦70年朝鮮半島平和大会」と大会に参加する訪韓団

が紹介され、最後に崔孝行(チェ・ヒョハン)兵庫本部代表委員が閉会挨拶を行った。

武器では平和は作れない！ 停戦70年を平和協定の元年にしよう！

日韓平和連帯6・16大阪集会

大阪で日韓平和連帯運動を取り組んでいる日韓平和連帯の主催で「朝鮮戦争停戦70周年 停戦70年を平和協定の元年に！6・16大阪集会」が6月16日(金)、PLP会館で開かれた。

集会では、日韓平和連帯事務局の横山貴安基さんが主催者挨拶を行った後、「国際・朝鮮半島情勢の変化と平和運動の課題」をテーマに、柳炅完(リュ・ギョングワン)コリア国際平和フォーラム共同代表が講演を行った。

柳氏は講演を通じ、具体的な例をあげながら「現在、何百年も続いた米国の軍事覇権、ドル覇権が没落している」と述べるとともに、ウクライナ戦争について「米国CIAが関与した2014年のクーデターでウクライナに親米政権が発足、そのことがロシアの脅威となり戦争に至っている」と指摘した。

そして、「現在、BRICS(ブリックス)の台頭をはじめ新しい世界秩序が生まれている」と述べ「武器では平和は作れない。東アジアの平和の実現のためには韓米日軍事同盟に反対し、韓日間の正しい歴史清算が重要だ」と強調した。



▲国際情勢などについて講演する柳炅完共同代表

講演後は質疑応答と7月22日にソウルで開かれる「停戦70年朝鮮半島平和大会」に参加する訪韓団の紹介、崔誠一(チェ・ソンイル)韓統連大阪本部事務局長が朝鮮戦争の平和協定締結を求めるプラカードアピールの協力要請を行い、最後に日韓平和連帯事務局次長の西山直洋さんが閉会挨拶を行った。

はんちゃん大阪BBQイベント

韓青生野北支部委員長 金和容(キム・ファヨン)

韓青大阪本部は5月の「ポムモイム(春のつどい)」に続き、6月25日(日)に鶴見緑地公園BBQ会場でBBQイベントを行いました。

ポムモイムの時は雨のため、いくのパークのグランドでのピクニック形式はできませんでしたが、今回は雨が降らなかったためBBQイベントを無事開催できました。

美味しいお肉と野菜を食べながら、参加者皆で楽しくワイワイと話が盛り上がりました。お酒もたくさん買ったはずだったが、あっという間になくなりました(笑)。

プライベートのこと、活動のこと、情勢のこと、自分の好きなものなどを参加者はそれぞれを語り合ったので時間が過ぎるのが早く感じました。

BBQ行事の後は今里駅付近の居酒屋で2次会を行い、ここでも話が盛り上がりました。全体を通じて参加者皆で楽しく交流ができ、充実した充実した一日になったかと思います。



▲楽しく語り合うBBQ行事参加者



【感想文】

우리나라(ウリナラ・祖国)への旅

韓青兵庫県本部 朴偕泰(パク・ヘテ)

韓国で朝鮮学校を支援する活動をしているモンダンヨンピルの招請行事「在日同胞との同行」が6月3日～4日まで行われ、韓青から2名が参加しました。今回の行事に参加した韓青兵庫本部の朴偕泰氏に感想文を書いて頂きましたので紹介します。

韓国へ行くのは初めてではありませんでした。家族旅行で5回ほど訪れたことがありました。しかし、今回はどのときとも違い、初めて自分の背丈で韓国を見つめられた気がしました。

2日目の昼に訪れた강화도(江華島)でバスを降りて歩いていくと、干潟と河を挟んだ先に陸地が見えました。朝鮮民主主義人民共和国でした。今まで写真や映像でしか見たことがありませんでしたが、その日、初めて自分の目で朝鮮を見ることができました。訪れた場所は展望台ではなかったので、人の姿や建物の様子は分かりませんでした。でも、それで十分でした。実感を持って朝鮮が「ある」ことがわかりました。



▲江華島での記念写真(右側が朴偕泰氏)

自分の国だと思えるかと言えば、それはまだだと思えます。しかし、確実に心の距離は埋まりました。自分の国だと思えなければ統一運動の説得力も生まれません。いつか朝鮮も訪れて、南北分断が悲劇であることを噛みしめられるようになります。

また、ウリマル(韓国語)が十分に話せないことを悔しくも感じました。現在は兵庫本部でウリマルを教えてもらっていますが、ほんの少し喋れるだけです。今回はモンダンヨンピルに、日本へ留学されたことのある方がいたので通訳をしていただきましたが、どうしても気を使ってしまうところがありました。相手の思いを引き出そうと思うと、自分で話せるようになっていなければなり

ません。真に韓国を理解するためにも勉強は必須です。以前にも増して力を入れて学んでいければと思います。



▲今回一緒に参加した在日韓国良心囚同友会の柳英数先生(左側)と韓青中央本部韓成祐委員長(右側)との記念写真

今回は、今までの家族と訪れた時とは違い、不思議と「外国」という感覚ではありませんでした。仁川空港へ降り立った時も「故郷へ来たんだ」ということが理解できました。これは韓青で活動する中で民族意識を持つことを教わり、少しずつ同胞への愛情を持つことができたからだと思えます。そして帰る時には自然と「寂しい」という感情が湧き立ち、そんな自分を不思議な気持ちで見えました。

楽しかったのはもちろんですし、自分の国だという感情になれたのも大きいですが、いま見つめ直した時に、一番は日本の政治的課題があったからだと思います。入管法改悪などの法改正が進む中で日本が徐々に住みにくい場所が変わっています。日々、日本で生きていくことの息苦しさは増しています。在日韓国人として、自分はどうアイデンティティを持って生きていくのか。今一度問い直すきっかけにしたいと思います。

【コラム】

ミスターサンシャインをまだ見ていないあなたへ

～希望しかない私たちの未来に～

●奴婢の息子と両班(ヤンバン)の

娘の運命的な出会い

Netflixが配信している韓国ドラマ「ミスターサンシャイン」を見ました。初めてこのドラマを見たのは、このドラマが韓国で放映された2018年でした。今から5年も前のことです。10話か14話くらいまで見たのに、いつの間にか見なくなっていました。その後、何度か見ようとチャレンジしましたが、どうしても入っていきませんでした。すばらしいドラマということはわかっているのに歴史の背景が重すぎたからです。

ドラマの背景は1800年代後半、朝鮮が日本の植民地となる直前の激動の時代です。イ・ビョンホン演じるユジン・チェ（韓国名チェ・ユジン）は朝鮮時代末期の朝鮮に奴婢の子として生まれます。ユジンの両親はヤンバン（両班）の家の奴婢です。つまりユジンは朝鮮でも最下層の出身なのです。

ユジンは住み慣れた故郷を追われ、幼くしてアメリカに渡り、様々な困難を乗り越えてアメリカの海軍士官となって、朝鮮にあるアメリカの公館に公使として赴任します。彼にとって祖国朝鮮は愛する故郷ではありません。

もう一人の主演であるキム・テリ演じるコ・エシンはヤンバン（両班）の家の令嬢です。彼女の両親は独立運動の義勇軍です。エシンは父母の遺志を継いで義勇軍として朝鮮の独立のために戦う戦士として、ひそかに射撃訓練を重ねています。そんなまったく違う環境で育った二人が、ある人物を狙撃する場面で劇的に出会うのです

●階級と民族

あまりにも違う背景で育った二人ですが、やがて互いに惹かれ合って行きます。ただ、この二人の関係には複雑な社会的な要素が介在しています。朝鮮の最下層民出身であったが、朝鮮に対しては優位にある列強のアメリカ人としてのユジンの立場。朝鮮の支配階級の娘ではあるが、その祖国朝

鮮は列強によって主権を奪われようとしているというエシンの立場。

ユジンはかつて朝鮮の中では最下層にいたけれど、今は朝鮮に対して優位にあるアメリカの軍人なのです。そんな関係から来る屈折した感情がユジンにはあります。祖国に対する冷めた思いとエシンに対する熱い想い。

ドラマの中でユジンがエシンに問いかけるセリフが印象的です。「あなたが目指す朝鮮に、奴婢は居るのですか?」。この言葉にエシンは衝撃を受けます。彼女がこれまで考えたこともない質問だったからです。自らの階級意識を問われ、エシンは苦悩します。

●ラブストーリーとして

見ることをおすすめ

ドラマの脚本を書いたキム・ウンスクは「太陽の末裔」「トッケビ」など、日本でも人気を呼んだドラマを書いている作家です。このドラマは歴史ドラマとして

ではなく、ラブストーリーという視点で見ることをおすすめします。むしろ、そのように見ると作家は望んでいるのでしょうか。

ドラマに登場する朝鮮の山河の息をのむような美しさ。最初はキム・テリとの年の差が感じられたイ・ビョンホンが、回を重ねるごとに青年のように初々しい表情に変化して行く姿が新鮮でした。映画「1987」で大学生役を演じたキム・テリ。このドラマでは風格のあるヤンバンの令嬢を見事に演じています。

このドラマが教えてくれるのは、私たちの歴史は、いつどんな時でも民族の独立のために闘って来た、無数の人々に支えられている、という事実です。最悪な状況の中でも敗北主義に陥らず、義兵として闘いを次の世代につないで行った先駆者たちの存在。このような時代の中でも、ここまで命をかけて闘った歴史があるならば、私たちにはもう恐れるものは何もありません。

「希望」を探しているあなたに、ぜひ見てほしいドラマです。

キム・ヘス



▲韓国ドラマ ミスターサンシャイン

【韓国ドラマ紹介】

今、再び浪漫ドクター キム・サブ

なぜ「今、再び浪漫ドクター キム・サブ」という題名をつけたのか？それは以前にキム・サブを紹介しているからです。このドラマが始まったのは2016年11月からなので、2017年に紹介しています。当時は、このドラマがパート2（2020年）、パート3（2023年）と続編が作られる人気ドラマになるとは思っていませんでした。

韓国でも日本でも、3回も続編が放送されるドラマは数少ないです。なぜそこまで人気があるのか？私なりに考えると、やはりハン・ソッキュ演じる主人公キム・サブの人柄でしょうか。外科医としての腕は超一流、権力に媚びることなく、片田舎にある大学病院の分院で、ただただ目の前の患者を救うために全力を尽くすキム・サブの姿。もう一つは若手医師たちとの葛藤と交流です。パートごとに悩みを抱えた若手医師がキム・サブの前に現れ、問題を起こしていきますが、キム・サブとの交流を通じ医師たちは成長していきます。

日本で有名な医療ドラマでは、山崎豊子さんの「白い巨塔」があります。スペシャル版を含め計

5回ドラマ化されています。70歳以上の方は主人公の財前五郎＝田宮二郎さん、私のような50歳以上は財前五郎＝唐沢寿明さんを連想するでしょう。



白い巨塔は大学医学部内の権力争い、不正を題材にした内容で、財前五郎も最後は志半ばで亡くなってしまふ悲しい結末でした。

キム・サブもパート1と2では、大学病院内の権力闘争に巻き込まれる場面もありますが、独自路線を貫くキム・サブはカッコイイです。

私は今、パート3を視聴中で毎週土曜日を「キム・サブの日」と決めて1話ずつ見えています。パート3では、キム・サブと同期の教授が出てきます。キム・サブも認めるほど腕は超一流でありながら、キム・サブと教授は医療に対する考え方の違いで対立していく中、物語は進んでいきます。

パート1と2はDVDが大手レンタルショップにあります。また動画配信サイト「ディズニープラス」に加入すると、すべての物語が見ることができます。ぜひご覧ください。（ソン）

◆◆行事紹介◆◆

韓統連セミナー2023

第3回「尹政権と韓国民衆」

-経済、労働、教育、ジェンダーなどの視点から-

日 時：7月9日（日）午後1時30分 受付
午後2時 開会

場 所：KCC会館

（地下鉄今里駅3番出口から徒歩7分）

講 師：金昌範 韓統連大阪本部副代表委員

参加費：800円（青年学生500円）

主 催：韓統連大阪本部

問合せ：090-3822-5723（崔）

第28回統一マダン生野プレ企画

朝鮮半島とアジアの平和を考えるつどい

日 時：8月27日（日）午後1時 受付
午後1時30分 開会

場 所：クレオ大阪中央4Fセミナーホール
（地下鉄四天王寺夕陽丘1番出口から徒歩5分）

講 師：康宗憲 韓国問題研究所代表

参加費：800円

（障害者・学生・75歳以上は500円）

主 催：第28回統一マダン生野実行委員会

問合せ：090-3822-5723（崔）

編集後記

7月22日にソウルで開かれる「停戦70年朝鮮半島平和大会」が近づいてきました。関西から多くの同胞・日本人が参加します。私も参加します。8月号の報告記事をお楽しみに！（ソン）

